

改善プログラムシート

施設の目指す姿

・「遊び」を通じて、子ども会等の青少年活動を支援したり、自然体験活動等さまざまな体験や創作の場と機会を提供する中心的活動拠点としてさらなる青少年の健全育成を図ります。
 ・テーマを「サービスマインドとマーケティング努力の一体改革」と定め、創意工夫による段階的な改善で利用者増を図り、安定した経営体制の構築を目指します。

施設名

青少年施設 ひなた村

担当部課名

子ども生活部ひなた村

優先順位	改善内容	改善時期	改善の効果	改善が必要と考える背景や考え、実施方法
①	子どもセンター・子どもクラブなど他の児童青少年施設とともに施設のあり方を検討し、ひなた村の位置づけを明確にします。	2011年10月 検討開始	今後の方向性の確立	町田市の児童青少年施設全体の将来像を検討する中で、他の子どもセンター・子どもクラブなどの施設との関連で、ひなた村のあり方を全体から見て考える必要がある。
②	市民協働の体制の充実や、民間活力導入を視野に入れた検討を始めます。	2011年10月 開始	今後の方向性が確立	2011年10月から、市民協働の体制の充実や平日の日中の利用者増対策等について「ひなた村運営協議会」に諮り、今後の改善意見を集約します。また、安定した経営体制の構築に向け、指定管理者導入や組織改正等を視野に入れた検討も行い、今後の方向性を確立します。
③	平日の日中の利用者増に向け、工作・遊びや「体験活動教室」を実施するとともに、サポートスタッフの育成を図ります。	2012年10月	・平日の日中の施設稼働率 35%→50% ・サポートスタッフの確保	2012年5月広報等で「遊びの達人」を募集し、サポートスタッフとして10月から予約なしで参加できる工作・遊び等を担当してもらうとともに、科学・アウトドア等分野別にサポートスタッフを育成し、青少年活動を支援するネットワーク作りをします。併せて、学校教育では味わえない「体験活動教室」を開設し、利用しやすくなったひなた村をPRします。
④	ひなた村の特長を生かした「自然体験活動教室」等のプログラムメニューを増やします。 併せて、顧客の拡大策を検討します。	2013年4月	・自然体験活動教室2回→5回 ・プログラムメニューの増加	・学校にもPRし、ひなた村の魅力である自然のフィールドを生かした「自然体験活動教室」を増やします。併せて町田市観光コンベンション協会との協働事業として炊事場を利用したカレーツアーを実施します。 ・さらなる利用者増に向け、2013年度中に顧客の拡大策を検討します。
⑤	防犯対策を強化しました。	2011年10月 実施	安全安心な施設の確立	休業日の職員確保増、警備会社によるセキュリティー機能及び夜間警察官による巡回パトロール強化を実施しました。